

生涯青春

大会開催決定 組合せ激戦区



▲増淵(八潮)

— 今大会への意気込み
まずは大会を開催して頂けることへの感謝と御礼を関係各位の方々へ申し上げます。例年より少ない参加12チームでの開催となりますが、競合チーム(企業)が多く参戦している中、勝ちを4つ積上げて何としても優勝したい。

— 優勝を狙う上で理想のチーム像
これまで2回優勝しているが、優勝できた年は失策が少なかつた。1試合で1個に留め、守りを中心に戦いたい。

— 期待する戦力
二人の投手には期待している。優勝経験のある伊藤に増淵を加え、ハイレベルな投手を二枚用



▲絶好調のリード・ワキ 林(浦安)

意出来てるのは強み。林の長打、根津専務の勝負強さには今年も期待。新戦力の荒木は楽しみながら活躍してもらいたい。

— 初戦は一昨年に準決勝で敗戦を喫した、その年に優勝した入船鋼材とですが、初戦に向けて考えている事
一昨年の敗退は10得点しながらも自らの失策で最終回に逆転を許すなど攻守ともに、ミスの多い展開だった。総合力では五分五分と見ており、久しぶりの実戦なのは両チームともに同条件。一つ一つのアウトを確実に取っていききたい。

— 新型コロナウイルス禍の中の開催となりますが、どんな大会にしたいか
ベンチ内ではマスクをするなど、感染対策を徹底しながらの戦いになる。



▲インタビュー中の前島主将(八潮)

例年最終日は大応援となっていたが今年難しい為、優勝報告という形で期待に応えたい。

— 今大会を通して会社へ伝えたいこと
根津鋼材を元気にできる活動を野球部から後押ししたい。コロナ禍で会社行事が中止になる中、明るい話題を会社に提供できる喜びを選手は感じ、4試合分の活動を社内に報告できるように、全力を尽くしたいと思います。

新型コロナウイルスの影響により、昨年は中止となった鉄鋼流通三団体合同野球大会の開催が決定。九月十四日に主将会議が開催され、組合せが決定した。二年ぶりの大会に向け、前島主将へインタビューに答えて頂いた。

